

共生

奈良県生協連

2003年7月

NO.49

万葉のいぶきを求めてー (14)



春日大社・砂ずりの藤

藤並ふじなみの花は盛さかりに なりにけり 奈良の都を 思ほすや君
大伴おおとも四綱よつな

万葉の歌人 大伴旅人おおとものたびとは64歳を過ぎた高齢で太宰帥だざいのそちとして九州の太宰府に赴任した。遠く都をはなれて、思いはいつも奈良の都にはせていたのであろう。赴任して間もなく妻を亡くし、加えて翌年には長屋王の変のニュースが飛び込んで来る。少ない情報に苛立ち、ホームシックにかかる旅人を慰め、励ましていたのは部下の大伴四綱おのおのや小野老たちであり、話題はいつも都のことばかりであった。

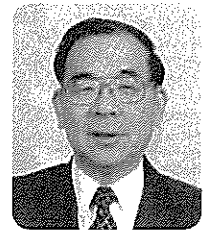
「太宰府にも藤の花が咲きましたねー。奈良の都でも今頃は藤の花があちこちで咲きほこっているでしょうが、こうして藤の花を見ているとやはり思い出されるでしょう、都のことが……。」

春日大社の「砂ずりの藤」は樹齢400年ともいわれ、花房は2メートル近くにもなる。五月の春日大社は、紅の社殿に山の緑と藤の花が映え、古都の美を一層引き立たせる。

生協の21世紀理念の 実現に向けて

奈良県生活協同組合連合会

会 長 逸 見 啓



奈良県生活協同組合連合会（県連）に結集されている会員、組合員の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。この度の第14回通常総会並びに第1回理事会におきまして会長に選任されました。私にとっては身にあまる重責ではありますが、ならコープでの経験を活かし、生協運動の発展のために精一杯の努力をしております。私の畏敬する前任者の繁田会長同様に、ご指導ご鞭撻を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

1990年5月に発足以来、県連は県内生協の連帯と協同を強め、生協運動の視野と可能性を拡大してまいりました。運営にあたっては、「加盟生協の全員一致を原則とし、行動については各生協の立場を尊重しながらやっぴこうと申し合わせ」（『なら生協連ニュース』No.1、1991年2月10日）をし、会員の見事な結束のもとに発展してきました。加盟生協は、本年「コープ自然派奈良」をお迎えし8生協、組合員数約27万人を誇るまでになりました。今後とも、労済生協、大学生協、地域生協と多様性を持ちながら、協同・連帯し、お互いに相手の立場を尊重し、決して無理をしたり、無理を強いたりすることのないようにし、奈良県下の豊かなくらしのために前進してまいりたいと思います。

日本経済は構造的デフレにイラク戦争後の混迷が加わり、景気の先行き不透明感が強まっています。米国経済の減速、消費の変調、雇用不安、金融不安、医療、年金、介護など社会保障

分野での国民負担増、給付減などと多重不安に縮む事態が進行しています。そのうえ、平和憲法のもと、戦後国民の草の根的な努力によって営々として築きあげてきた体制が危機に瀕しています。国民保護に課題を残す戦時体制を規定した有事関連三法やイラク復興支援に名を借りた自衛隊の海外派遣などです。「平和とよりよき生活のために」をスローガンとして戦後の生協運動は出発しました。くらしの基礎に平和があることをしっかりと踏まえて歩みたいものです。

さて、私たちが数年にわたって取り組んできた食の安全の運動は、食品衛生法の改正、食品安全基本法の制定、食品安全委員会の設置具体化など、議会、県関係者、JAならけんや多くの友誼団体などのご協力ご支援もあって大きな一歩を踏み出し、社会システムとして役立つものにしていく基盤ができました。関係者の長年の努力に感謝するとともに実効性あるものにしていきましょう。

第14回総会で決定しました活動方針にもとづき、誠心誠意その実行に努めるとともに、県行政との協力関係、食品の安全を求める様々な取組み、県議会政党・各会派への渉外活動、他団体とのネットワークなど県連活動を着実に進展させていきたいと思ひます。会員生協におきましては、組合員の期待と信頼に応え、「自立した市民の協同の力で人間らしいくらしの創造と持続可能な社会の実現を」という生協の21世紀理念の実現のために奮闘していただくようお願いいたします。

もくじ

会長あいさつ……………②	平和……………⑧	広がる協同・くらしの輪…⑫
食の安全……………③	環境……………⑩	つながる連帯・友好の輪…⑭
第14期県連通常総会……………④	福祉……………⑪	県連日誌・お知らせ……………⑯

●●● 食の安全 ●●●

御 礼

食品安全基本法・改正食品衛生法の国会成立に当たって

5月16日の食品安全基本法の成立に続き、23日には改正食品衛生法も成立しました。

私ども生協では、全国各地で今日的な食品安全確保のための社会システムの確立を求めて、足掛け5年にわたる運動を進めて参りましただけに、その感慨もひとしおです。全国の生協・組合員は、今回の食品安全関連法の成立を心から歓迎するとともに、私どもの要望を受け止め、その実現にひとかたならずご尽力頂いて参りました皆様に、心からの御礼を申し上げる次第です。

今国会での食品安全関連法の成立は、わが国の食品安全の法制度の大きな転換を意味するものと考えます。なお、今後に向けては、新しい法制度が実効性をもって運用されることが重要だと考えます。食品安全委員会においては、委員会の勧告権や公開性の確保、専門調査会等への消費者の声を反映する委員の選任やリスクコミュニケーションの確立等、実効性ある運用を期待するものです。改正食衛法においても、法目的に沿ったリスク管理やリスクコミュニケーションの確立等の実効性確保が期待されます。同時に、食品安全に係る監視・指導の第一線である都道府県等のリスク管理やリスクコミュニケーションのあり方を充実させることがとりわけ重要だと考えるものです。

私たち生協は、以上の課題の実現に向けて、今後とも取り組みを進めて行くとともに、事業者としても新しい法律の主旨を受け止め、取扱い商品の一層の安全・安心の確保に努めて参る所存です。

最後に、改めて今国会での食品安全関連法の成立に感謝申し上げるとともに、今後におきましても、私どもの取り組みへの引き続きのご理解とご支援を頂けるようお願い申し上げます。御礼のご挨拶とします。

2003年5月30日

奈良県生活協同組合連合会

奈良県における食品の安全・安心の確保のための基本方針検討委員会

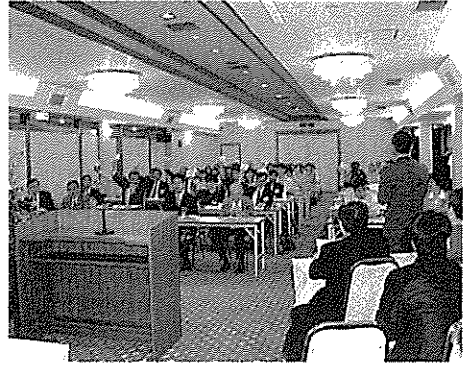
私ども生協では、国に対して、食品安全基本法制定や食品衛生法の改正運動に取り組むと同時に、奈良県に対して、食品の安全確保のための基本方針策定や施策の充実強化を求めてきました。県生活衛生課との話し合いや県議会議員のみなさんのお力添えをいただきながら、このたび、「奈良県における食品の安全・安心の確保のための基本方針検討委員会」が設置され、施策充実に向けて動きだしました。私ども奈良県生協連合会として、次ぎの8つの視点でもって政策提言を行いました。

基本的な考え方

- ①食品の安全性確保に関する施策は、県政の最も重要な課題の一つとして位置付けること。
- ②食品の生産・製造から流通、消費に至る、途切れのない安全対策のしくみを作ること。
- ③環境が食品に与える影響の考慮など、総合的な推進を図ること。
- ④農・畜・水産をはじめとした産業振興行政と食品安全行政の監視・指導部門を分離すること。
- ⑤食品の安全性確保に関する施策への消費者の意見の反映や、消費者の参画が確保されること。
- ⑥食品の安全に関する情報を、消費者に正確かつ迅速に提供すること。
- ⑦情報交換、効果的な監視・指導や普及啓発において、国、他府県、市町村との連携、協力を進めること。
- ⑧食品の安全性確保対策を積極的に進める観点から、調査研究や普及啓発の強化を図るなどの予防対策を重視すること。

第14期 奈良県生協連合会通常総会

6月7日猿沢荘において第14期奈良県生協連合会通常総会を今回からコープ自然派奈良も加わり8生協で開催しました。繁田会長、来賓の方々のあいさつに続き、議長に選出された近藤代議員により議事が進行され、代議員定数24名中、実出席22名、委任出席2名で総会が成立し、提案された全議案が承認されました。今期にて、繁田会長、津田理事、粟村監事が退任されることになり、補充役員選挙後、第1回理事会が行われ新執行部体制が確認されました。



総会後の交流会では、来賓のあいさつ、新旧会長のあいさつに続き、各生協の自己紹介やパフォーマンスでおおいに盛り上がり、情報交換あり、意見交換ありで積極的な交流のひとつとなりました。

繁田会長開会のあいさつ



長引く不況のなかで生協のおかれている状況はあいかわらず厳しい。平和はよりよい生活の基盤であり、生協運動は平和でなければならないが、今、平和も厳しい。地球環境、福祉も厳しい。核をめぐる情勢は依然として厳しい。昨日、有事関連法が成立してしまったが、私はあきらめてはいない。破防法の場合と同様にその安易な運用の阻止はできていると思っている。生協はこんな運動の運動体であるのと同時に組合員の利益のための事業体でもあり両方のバランスを考えながら生協活動は推進されるべきものである。

今年度、新たにコープ自然派奈良を迎えた。強力な友だちになってもらい、更に、強力な県連に成長しよう。

ご来賓の皆さま

奈良県生活環境部県民生活課課長	林	彪	様
同 係長	大前	利隆	様
奈良YMCA所長	藤井	辰夫	様
奈良県原爆被害者の会会長	市原	大資	様
日本生協連関西地連	八巻	平	様



議案

- 第1号議案 2002年度活動報告、決算報告・剰余金処分案及び監査報告承認の件
- 第2号議案 2003年度活動方針及び予算案決定の件
- 第3号議案 2003年度借入金最高限度額決定の件
- 第4号議案 補充役員選出の件
- 第5号議案 定款の一部改正の件
- 第6号議案 監事監査規約制定の件
- 第7号議案 議案決議効力発生の件
- 第8号議案 その他

退任された理事

繁田 實造 会長理事 員外

今後も名誉会長としてご尽力いただくことになりました。

津田 康英 理事 奈良県立大学生協同組合専務理事

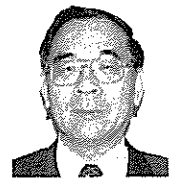
栗村 俊夫 監事 奈良県立大学生協同組合監事

たいへんお世話になりました。ありがとうございました。



奈良県生活協同組合連合会新執行体制

会 長	逸 見 啓	員外
副 会 長	松 村 昌 治	奈良県労働者共済生協専務理事
専 務 理 事	仲 宗 根 迪 子	ならコープ理事
理 事	宇 野 真 紀 子	コープ自然派奈良理事長
	鍵 本 有 理	奈良工業高等専門学校生協専務理事
	小 林 和 美	大阪樟蔭女子大学関屋キャンパス生協理事
	小 松 原 尚	奈良県立大学生協副理事長
	瀧 川 潔	ならコープ理事長
	竹 内 繁	奈良女子大学生協専務理事
	宮 崎 浩 三	奈良教育大学生協専務理事
監 事	今 西 裕	奈良県労働者共済生協監事
	津 田 康 英	奈良県立大学生協監事



新理事
逸見・小松原・宇野

よろしくお願いたします。

全国から祝電やメッセージをいただきました

祝 電

奈良県農業協同組合中央会
奈良県森林組合連合会

メッセージ

36県連・生協・団体より
*ありがとうございました。

各生協からの代議員報告



ならコープ 山根理津子代議員

今回ISO14001を取得し今後もますます環境活動を推進していきたい。組合員作の、子どもたちが楽しみながら省エネを考える環境すごろくを他生協でも活用ください。

他にフードセーフティシステムの確立、福祉活動、ピースリレー、子育て支援活動等、様々なサークル活動に取り組んできた。



奈良労済生協 中川修三代議員

事業外活動でホームヘルパー2級養成通信講座を行っている。2002年度こくみん共済が好調。自然災害共済も利用が増えている。各々の生活スタイルに応じた保障を提案していく保障設計第3次計画推進中。またこくみん共済発売20周年600万件達成を記念して9月頃、親子参加型のイベントも計画している。



コープ自然派奈良 宇野真紀子代議員

自前の託児サークルを立ちあげ環境を守る運動、子ども達を有害紫外線から守る運動、学校給食を考える学習会をしている。第1回通常総会で「知ろう、学ぼう、楽しもう、暮らしまるごと安心安全生協を目指し、組合員みんなでよりよいコープ自然派奈良づくりに取り組もう」というスローガンが採択された。



奈良高専生協 林 伸幸代議員

購買の時間を延長し定着してきた。今年も学生委員会と理事会とで新しい企画を広げたい。アースデーに大学生協もたくさん参加していただいて、いっしょに環境について考えたい。独立行政法人化をひとつのチャンスとしてとらえ、学校に役立つ生協になり、全国の高専へと生協の枠を広げていきたい。



奈良県立大生協 佐藤友紀代議員

年度初めの新歓パーティにも、総会にも史上最高の出席があり発言も多く、その要望に応えられるようにと、食堂班も立ち上げて生協スタッフと協力しながら生協活動に頑張っている。昨年まで冊子で年3回発行していた機関誌を今年から月1回、フリーペーパーという形式で発行している。



奈良女子大生協 橋本佳子代議員

生協のおばちゃん方においしい料理のつくり方を教えてもらいたく、総代会で提案したら取り上げてもらえて料理教室が開かれることになった。料理だけでなく、つながりが広がり、より親しくなれる場になり定期的に開かれることを願っている。



教育大生協 仲島 淳代議員

新入生歓迎行事として、一人暮らしをはじめる新入生のための料理講習、また奈良を知ってもらおうという企画でハイキングをした。機関誌「KARIN」を年4回発行している。



大阪樟蔭女子大関屋キャンパス生協 羽賀省二代議員

昨年度で累積債務が解消でき、生協の学生委員も増え、大きな存在となりいろいろな活動もし、生協らしくなってきた。来年はアースデーにも参加できたらと思っている。また今年の年度末に大学で乳幼児学会が開催されるが、遠方から来られる方に奈良の紹介をしたいので情報のご協力をお願いしたい。

総会アピール

安心して暮らせる社会をめざして生協の事業と運動を強めましょう

「21世紀を平和の世紀へ」との私たちの願いを無視して、米英軍は、国連安全保障理事会の新たな決議なしに、イラクへの武力先制攻撃を行い、市民を含む多くの犠牲者を生みだしました。この武力先制攻撃に対し、小泉首相はいち早く支持を表明し、国連憲章や平和的解決を求める国々や人々の失望をかいました。今こそ、国連を中心とした国際連帯と協調への努力が強く求められています。日本経済は、企業の倒産・再編、海外移転、リストラ等により、高い失業率と低賃金化が進み、また、医療、社会保障、税制「改革」による国民負担増と先行き不安によって、消費が冷え込み、デフレ不況が長期化しています。

このような中で、組合員の暮らしは大変きびしい状況が続いています。私たち生協では、府県を越えた連帯を強めながら、組合員の暮らしに役立つ確かな商品づくりなどの事業の強化に取り組んでいます。また、「平和とよりよい暮らしの向上をめざして」、平和、環境、福祉、食の安全など、組合員の様々な願い実現に向けた地道な活動を続け、これらの願いを社会的な願いとして、法改正を初めとした国民的な運動に高めてきました。とりわけ、食品の安全の運動においては、食品安全基本法の制定、食品衛生法の改正実現に結実し、さらに、各都道府県において、食品の安全に関する基本方針策定や条例制定に向けて運動が強められています。

この奈良県においても、事業を取り巻ききびしい状況のもと、組合員とともに進める事業と運動をより一層強化しましょう。これら事業と運動が両輪となって発展し、21世紀が協同の世紀として花開くようともに頑張りましょう。

交流会



平和

イラクへの軍事攻撃の即時中止を求めるNO WARのつどい

3月20日、米英軍等のイラク攻撃を受けて、緊急に、これまで平和の取り組みを行ってきた団体を中心にイラクへの軍事攻撃の即時中止を求めるNO WARのつどいを開催しました。1回目は3月29日(土)10時~12時、JR奈良駅前集会所と県庁前までデモ行進を行いました。

2回目は、4月12日(土)10時~12時、JR奈良駅前ユニセフ(イラク緊急)募金と宣伝活動を行いました。

<呼びかけ団体>

- ・奈良県原爆被害者の会
- ・地球市民フォーラムなら
- ・(特活)奈良NPOセンター
- ・奈良県視覚障害者の生活を守る会
- ・奈良県青年団協議会
- ・奈良県生活協同組合連合会
- ・(財)奈良YMCA
- ・ならNPOプラザ
- ・ナラ・ファミリー&フレンド
- ・コミュニティワークこっから
- ・奈良県地域婦人団体連絡協議会

3・29 イラクへの軍事攻撃の即時中止を求めるNO WARのつどい

国連を中心としたイラク問題解決の願いもむなしく、米・英・豪によるイラクへの武力攻撃が開始されました。今後、イラクの徹底抗戦により、市民をも巻き込んだ多数の犠牲者が生み出されることが予想されます。今は一刻も早く戦争を終結させるために、市民一人ひとりのNO WARの行動が必要です。一人ひとりの平和への思いをつなげて大きな国際世論の力で戦争を終結させましょう。



4・12 NO WARのつどい

3月20日、アメリカ、イギリスなどは、新たな国連決議を経ることなくイラクへの軍事攻撃を開始しました。そして、4月9日、首都バグダットの陥落によりイラク戦争は最終局面を迎えつつあります。この間、民間人を含む少なくない犠牲者を生み出し、今も、共和国防衛隊等による散発的な抵抗もあり、民間人を含む犠牲者はまだ増えることが予想されます。

イラクでは戦争と長期にわたる経済制裁で、栄養状態や衛生状態の悪化など市民の生活はきびしいものが予想されます。今後は、国連を中心とした人道支援や復興支援が急がれます。私たちは人道的立場から、イラク緊急募金に取り組んでいます。この募金はユニセフを通じて被災地に届ける予定です。

イラク問題の解決に当たって、私たちは国連を中心とした平和的解決を求めてきました。しかし、米・英軍はこのような国際世論を無視して、武力先制攻撃を行いました。これに対して、私たちは3月29日に緊急の集会を持ち、世界の各地でイラク戦争即時中止を求める市民の大規模な行動がまきおこりました。

今後、緊迫化する国際情勢にあって、国際問題の解決は国連を中心とした平和的解決の道筋とNO WARの国際世論の大きな力がより大切になっています。被爆国日本として、二度と戦争を繰り返さない強い決意をもって市民のみなさんに訴えます。



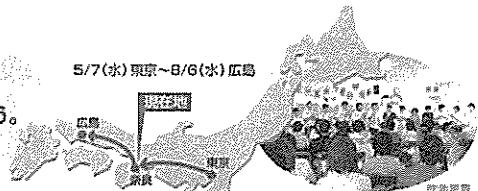
ピースリレー2003 In なら

ピースリレー2003は、6月26日に京都から奈良に入り、30日までの5日間、県内で行進、つどい、映画会、パネル展やコンサートなど、平和を願う様々なとりくみをつなげ、6月30日大阪に引継ぎました。

今年の
統一
テーマ

- 世界中から戦争・紛争をなくしましょう。
- 世界中からすべての核兵器をなくしましょう。
- 世界の子どもが安心してらせる社会をつくりましょう。
- 被爆・戦争体験を次の世代に語り継ぎましょう。

5/7(水)東京～8/6(水)広島



6月26日(木) ●奈良市内平和行進
集合 般若寺に12:30

12:30 般若寺で引継ぎ集合。
～14:15 県庁～大宮通りを西進～15:30 奈良市役所で休憩～佐原川沿い～
16:00 ならこーぷ本部到着、解散 ※時間は若干の前後があります

平和行進には、各自でアビールしたい言葉などを書いたフラカードなどをご自由にお持ち下さい。行進途中からの参加ももちろんOKです。

6月30日(月) ●平和行進(王寺・三郷コース)
集合 王寺町役場前10:30

10:30 王寺町役場前集合、出発集会～11:45 三郷コミュニティセンター前。
12:05 バス移動開始～12:30 大塚町への引継ぎ集会に参加～13:30 王寺で解散
※時間は若干の前後があります

6月27日(金)
**世界へとはばそう
笑顔のふうせん**
10:00～12:30 於:ディアーズコープいこま

- ◆イラク状況とユニセフ援助活動報告
ユニセフ代表部: 山藤エリザベスさん
- ◆戦争体験のお話を聴く会
奈良県原爆被害者の会: 大月さん
- ◆ピースコンサート

6月28日(土)
**平和のつどい
In たつたがわ**
10:30～12:15
於:ディアーズコープたつたがわ

- ◆イラク状況とユニセフ援助活動報告
ユニセフ代表部: 山藤エリザベスさん
- ◆平和ミニコンサート
- ◆子どもの平和作文の朗読

6月29日(日)
※開催場所にご注意ください
◆ピースハイキング
「どんづるぼうろ探検」
近鉄間宮駅10:00集合 12:00現地解散予定

- ◆子どもピース映画会 (10:30～12:00)
「クワがいた夏(78分)」 於:コープみみなし
参加費 200円(小学生以上 お菓子つき)
申し込みは、組合員活動課へ
- ◆平和パネル展 於:コープたかた
- ◆ピースコンサート&絵本よみかせ
10:30～
於:コープ六條

6/20(金) **元米海兵隊員 アレンネルソンが語る I KNOW WAR**

彼が海兵隊で戦ったことは「命令にまづこと」であった。「死ぬ」と言われたら死ぬ。「寝て」と言われたら寝る。「殺せ」と言われたら殺す。そんな彼がある日ベトナムの女性の出産現場に出くわし、赤子の顔かさとやわらかさに魅れ、ベトナム人も同じ人間であることを実感した。自らの体験にもとづく彼の語りは聞く人の心をうち、感動を誘う。

とき **6月20日(金) 10:00～11:45**
ところ **やまと郡山城ホール**
定員 **100人(無料)** 先着になり次第締め切り

アースデー2003 in なら

4月20日、奈良県第一浄化センター自由広場において、アースデー2003 in ならが開催されました。この企画も14回目となり、あいにくのお天気でも700人もの参加があり環境のための行動も定着し、環境に恵まれた会場で環境をテーマにしたたくさんのお店や催しで交流を深めました。「大和川クリーン作戦」で集ったゴミは約4トンになりました。

アースデーレポート

奈良工業高等専門学校生協 学生委員 森 安里

僕は今年初めてアースデーに参加しました。

このアースデーの取り組みは、とても良い取り組みだと思いました。大和川の好きな人たちが集まり、子供たちに大和川についての説明をして、大和川をきれいにするなんて企画はすごい、と思いました。ふだん、あまり気にかけてはいませんが、今や日本一の汚さを誇っている大和川は、汚いままではいけないと思いました。しかし日本一汚いといわれるだけあって、掃除してもすごい量の、そしてさまざまな種類のごみがありました。目に見えているごみだけでもすごい量・種類のごみがあるのに、その上、水の中には目には見えない汚れがあるのを知りました。

大和川がこれだけ汚れているのを、いったい近畿だけでも何人の人が知っているのか？という気持ちになりました。僕もまた、まったく気にしていなかった人ですが、これだけ汚れているのをじかに掃除してみて、すごく大変で、汚すのは簡単だが、きれいにするのは難しいと実感しました。そして、掃除の大変さを知って

る人が増えれば、ごみは少しずつ減っていくようになるだろうと感じました。

掃除の後には舞台上、大和川についての子供向けの劇をしていました。内容は実に簡単で、水中には見えない有機物の汚れがあり、それを微生物が退治してきれいにしているが、大和川は今、その微生物の活動が追いついてなくて汚れているという話でした。子供向けで実にわかりやすいと思いました。子供が有機物をすべて悪い。そして、微生物がいいものと思ってしまうと、とても怖いから、ちょっとやりすぎかなと思いました。劇をしている人がほんとに真剣にがんばっていたのでよかったですと思いました。

このアースデーに来ているたくさんの子供たちが、大和川の汚れを知り、掃除の大変さも知って大和川を大切に思ってくれれば、少しずつでもきれいになっていくと思います。また、いろいろなものを通して参加していくことは大切なことだと思いました。



福祉

2002年度のあすなら苑の概況

〈ならコープあおがき抜粋〉

1. 特別養護老人ホーム（定員54名）

入居者の男女構成と年齢

	男性	女性	合計	最低年齢	最高年齢	平均年齢
2001年度	9名	45名	54名	63歳	95歳	84歳
2002年度	9名	45名	54名	63歳	101歳	85歳

入居者の日常生活の状況

単位(名)

	食 事	起 座	立 ち 上 り	リ お む し	着 脱	入 浴	歩 行	体 位 転 換	車 椅子
自立									
2001年度	28	22	17	10	6	6	13	26	18
2002年度	23	18	16	9	9	6	12	31	14
一部介助									
2001年度	14	17	24	28	23	23	18	16	16
2002年度	14	17	17	23	20	27	14	12	14
全介助									
2001年度	12	15	13	16	25	23	23	12	20
2002年度	17	19	21	22	25	21	28	11	26

介護認定の内訳

要介護度	1	2	3	4	5	合計人数	介護度平均
2001年度	2名	13名	7名	19名	13名	54名	4.0
2002年度	2名	11名	9名	16名	16名	54名	3.6

退苑者の内訳

	苑内での死亡	入院後の死亡	入院3ヶ月以上	その他	合計
2001年度	2名	5名	0名	0名	7名
2002年度	2名	0名	1名	0名	7名

2. ショートステイ(定員数16名)とデイサービス(定員数35名)の利用者数

	ショートステイ			デイサービス		
	年間	月平均	1日平均	年間	月平均	1日平均
2001年度	3,195名	326名	10.7名	6,746名	562名	18.4名
2002年度	4,630名	385名	12.7名	8,672名	722名	23.7名

3. 支援センターの相談件数(訪問・電話等)

	年間	年間	1日当り
2001年度	5,505件	458件	15件
2002年度	5,595件	466件	15件

4. ボランティア活動者(クラブ活動・シーツ交換等)、面会者(家族等)、見学者、会議室利用者

	ボランティア活動者	面会者	見学者	会議室利用者	合計	1日平均
2001年度	1,450名	3,697名	713名	9,128名	14,988名	41.1名
2002年度	1,287名	4,012名	511名	9,869名	15,679名	43.0名

5. 募金(寄付金)の内訳

ご協力ありがとうございました。

	ならコープ組合員・役員	団体・企業など	個人・その他	合計
2001年度	4,154,335円	24件 644,200円	89件 1,124,224円	5,922,759円
2002年度	3,239,154円	15件 770,921円	70件 1,360,500円	5,370,575円



お知らせ

● あすなら祭

とき 9月27日(土) 10時~14時

ところ あすなら苑

苑と地域の人たちとの交流を深めたいと思います。
みなさんのご参加をお待ちしています。

広がる協同・くらしの輪

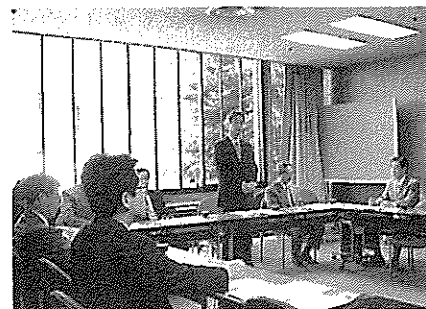
消費生活フォーラム

5月27日消費生活フォーラム「みんなで考えよう！くらしとルール」が開催され、「消費者と事業者の確かなパートナーシップをめざして」と題して荒井ふく氏（ダスキン社外監査役）をコーディネーターに、パネルディスカッションが行われました。パネリストとして、タン・ミッシェル氏（帝塚山大助教授）、池田康平氏（松下電器産業CS本部副参事）、森宏之氏（ならコープ専務理事）、山口ヒサ子氏（奈良県消費生活相談員連絡会会長）が消費者の安全・安心をおびやかす事件や多発する消費者トラブルの背景に迫りながら、消費者と事業者の信頼回復に向けた取組みについて、それぞれの立場から発言されました。（主催 奈良県）



2003年度第1回生協・行政協議会

5月16日奈良県文化会館において、所管の生活環境部県民生活課に新しく着任された県の職員みなさんに、生協の活動について理解を深めていただくために開催しました。県生協連の2003年度の重点課題と会員生協の特徴的な取組みについて報告し、意見交換を行いました。



第22回つながり祭

5月18日、障害を持つ人、家族、そして県民みんながつながろうと、「第22回つながり祭」が奈良教育大学で開催されました。県内の福祉作業所や障害者団体を中心に、一般企業も含む約60団体が参加し、模擬店や体育館内のステージなどでにぎわい、手づくりの行事を通して交流を深めました。県生協連は奈良教育大学生協学生委員の協力で、治道トマトのまるかじり販売を行い、大好評であったという間に完売となりました。

（主催 奈良県障害者協議会）



参加した学生委員からのレポート

今年もつながり祭でトマトの販売を手伝わせてもらうことができ、よかったです。販売を通してたくさんの人と話すことができたり、治道トマトにみなさんが関心をもってくださったりとても楽しい時間でした。販売するときたくさんの人たちと話す機会ができるのですが、治道トマトはとてもおいしいのですぐに完売してしまい、話す機会が少なくなってしまうのが少し残念に思われました。その場で冷たいトマトをかじって「おいしいね」と言ってむけられる笑顔は、販売を手伝っているだけの私にはすごくもったいないくらい幸せで、「育ててくださっている人たちみなさんに見せてあげたい！」と本当に思いました。昨年出会った人たちともいろいろ話すことができ、また来年も機会があるなら手伝わせていただきたいものだなあと思いました。

（奈良教育大学生協学生委員 平井 恵未）



トマトの売れ行きは非常によく絶え間なくやって来るつながり祭参加者にトマトをさばっていたという印象だった。天候もよく気温も高かったため氷水で冷やしたトマトの売れる条件はそろっていた。雨だったら適量だったかもしれない。安くておいしい治道トマトを買ってくれた人みんなよろこんでくれた。

（奈良教育大学生協学生委員 神田 雅章）

食の安全運動推進会議

4月30日生協会館新大阪において24生協（連）56名の参加で開催されました。食品安全基本法、食品衛生法の国会での審議状況と都道府県の食品安全行政の動きについての情報交換と、今後の進め方での意見交換を行いました。

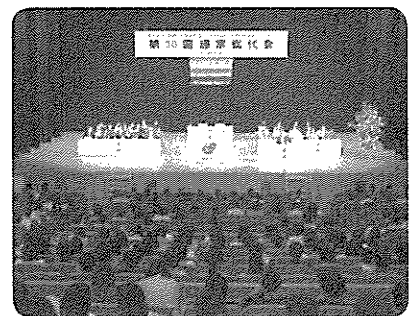
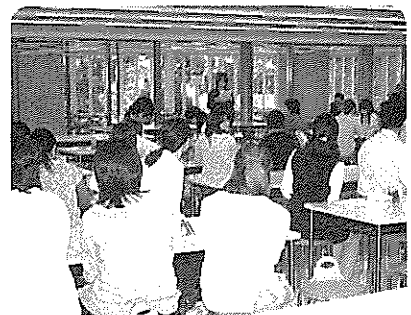
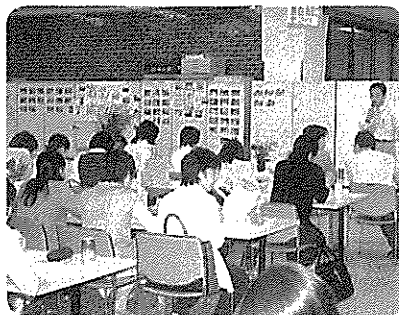
第7回食の安全懇談会

5月12日あすなら苑において開催しました。食品安全基本法の概要および食品衛生法の改正ポイントについて学習し、奈良県における食品の安全・安心の確保のための基本方針策定検討委員会について（県主催）、委員の吉田洋子氏（県生活学校会長）、瀧川潔氏（ならコープ副理事長）から消費者の立場からの意見表明等の報告がありました。県では基本方針策定後、実行計画策定に向けて懇話会設置の考えがあり、今後、懇話会での意見反映のため、この懇談会を継続していくことが確認されました。

会員生協通常総(代)会

会員生協の通常総（代）会が以下の日程で開催されました。実出席200名以上参加した奈良県立大学生協、生産者のお話しと交流会とを取り入れた奈良女子大学生協、学生を中心にグループで話しあった大阪樟蔭女子大学関屋キャンパス生協、はじめての通常総代会のコープ自然派奈良など、参加がむずかしい条件の中でも、それぞれの組合員の思いを総代会に反映していこうと、様々な工夫でもって開催されました。

5月22日(木)	奈良工業高等専門学校生協	5月22日(木)	奈良県立大学生協
5月23日(金)	奈良女子大学生協	5月25日(日)	コープ自然派奈良
5月29日(木)	奈良教育大学生協	6月4日(水)	大阪樟蔭女子大学生協
6月6日(金)	ならコープ	7月30日(予定)	奈良県労働者共済生協



つながる連帯・友好の輪

奈良工業高等専門学校生協

奈良高専生協では、去る5月22日に第7回通常総会を開催いたしました。総会では、組合員とともに進めるお店づくりを軸とした2002年度の活動方針を採択し、新役員を選出いたしました。

そして新理事会で互選を行い、

- ・理事長 木村 倫幸（一般教科教授）
- ・専務理事 鍵本 有理（一般教科助教授）

を選出いたしました。

新役員17名の内、6名の学生・専攻科生が理事・監事を務めます。この若い役員たちや、生協学生委員会など、学生たちが中心となって今まで以上に高専生に根ざした生協づくりを進め、全国の高専に生協の輪を広げていきたい、と考えております。今後とも、県連会員生協のみなさんのご協力とご指導をよろしくお願いいたします。（店長 林）

奈良労済生協

—全労済ホームヘルパー養成講座の開催について—

少子高齢社会の進展や介護保険制度の改革がおこなわれましたが、特別養護老人ホーム等施設の不足は、顕在化しています。

今日、介護を必要とするご家族をかかえておられる家庭では、介護に対する精神的・肉体的な負担は、はかりしれないものとなり、在宅介護サービスの必要性がますます高まっています。

全労済では、介護を必要とするご家族をかかえておられる家庭の介護支援の一つとして介護の知識・技術を身につけていただきながら、在宅介護サービスの職業に就かれるための資格としても訪問介護員2級資格を取得いただける養成講座を今年度も開催させていただくことになりました。

今年も、過去に当研修を受講された修了生のご紹介や一般公募により、定員を上回る受講希

望があり、定員30名の方が受講戴くことになりました。

研修期間は、2003年6月7日から2003年12月7日までです。

内容は、通信型の研修になっていますが、十分な知識習得のためのスクーリング・介護を受けられる方の気持ちに立った介護方法（介護技術）の習得・在宅サービスの体験学習等をいただいております。

また、在宅サービス体験の研修では、毎年、ならコープ支援の「特別養護老人ホームあすなら苑」に研修生の受け入れをご協力いただいております。

12月7日の修了式に受講生全員の方が、「訪問介護員2級」の資格を得ていただくよう、奈良県の指定事業者として努めていきたいと考えています。（事業推進課 中川）

奈良女子大学生協

奈良女子大生協では、1回生の学生委員も8名程加入し、夏の七夕企画や下宿生の要望から、第1回お料理教室の企画を進めています。

また、健康管理センターの高橋先生と一緒に学内でタバコの自販機を撤去する為に、禁煙キャンペーンを行なっています。未成年者がいる学内でタバコの自販機が設置されていることの、重大さを考えさせられています。

附属中等教育学校では、保護者・教員・生徒・生協職員が集う会を7月9日に開催する事になりました。皆で楽しく明るい学校生活を送れるように、生協の活動を通じて何が出来るかを出し合い、実現するために話し合っています。健全な経営を進めるために、組合員全員の知恵を集め改善するように努力しています。

（専務理事 竹内）

大阪樟蔭女子大学関屋キャンパス生協

今年は学生委員も元気で現在60名近い組織になりました。そして購買部、食堂ホールの拡大で組合員の利用も大きく増えました。それぞれの店舗でもっと学生が関わりたいということでお店ごとに委員会のようなものが出来てきています。今後は学生が商品の選定に積極的に参加したりというお店になるのでは…と楽しみに思っています。(店長 羽賀)

奈良県立大学生協

2002年度はいろいろな意味で挑戦と飛躍の年でした。メニューをすべて手作り化し、厨房はフル回転しました。その結果、年間供給高、利用者数ともに創立以来最高の数字になりました。小さな夜間の大学で人のやさしさと温かい食事を前面に出したことで、学生になくてはならない食堂、なくてはならないスタッフに近づ

けたように思います。

そして、そのことは今年度の総会にもあらわれました。5月22日に行われた総会には、実出席200名弱と、大学に登校している学生のほとんどに出席していただいた状況でした。残念ながら時間は短いので議論はあまりできませんでしたが、総会の中でも「食堂のご飯はメニューも味も家よりもおいしい」と評価していただきました。

今年も元気一杯スタッフと学生と一緒に頑張って生協を作っていきたいのですが、大きな課題もあります。それはあまりに古く老朽化してしまっている厨房器具です。利用者が増えたこともあり、現在の設備では許容範囲をはるかにオーバーした状況です。もしこれを読んでいただいて、安い厨房器具知ってるよとか、安くまたは無償で譲ってあげるよという方がいらっしゃったら教えてください。是非お願いします。

(店長 崎濱)

生活協同組合コープ自然派奈良をお迎えして

奈良県生協連合会事務局長 入口 俊彦

戦後物資不足の混乱の下、全国で町内会単位で生協設立運動が起こりました。しかし、奈良県は生協不毛の地と言われたように、地域生協としては、1974年の奈良市民生協の設立(現ならコープ)を待たなければなりません。県生協連の設立も1990年と全国でうしろから3番目とおそく、県内生協運動の連帯活動が遅れてスタートしました。しかし、その後の躍進はめざましく、当時夜間の大学(現奈良県立大学生協)で、高等専門学校(奈良高専生協)で、中等教育学校(奈良女子大附属)と全国に先駆けて新しい生協が誕生しました。この他にも大阪樟蔭女子大学関屋キャンパス生協、コープ自然派奈良と5つの生協が誕生したことになります。

コープ自然派奈良は、2000年6月に発起人会が発足し、2002年4月20日創立総会、同年10月18日県知事認可を受けて、新たに生活協同組合としてスタートしました。そして、臨時総会および第1回通常総代会で当連合会への加入が決議され、2003年5月29日当連合会の臨時理事会で加入承認と新生協からの理事増員の決定を行ない、新しい仲間を迎えることとなりました。

今、世界的な市場経済化の流れの中で、多くが負け組みとして淘汰される時代にあって、儲かるころへはどんどん資本が流入し、儲からないところは撤退していくという流れの中で、奈良の大学のような小さなところや、生産者との顔の見える関係の中で安全・安心な農産物等がほしいと設立されたコープ自然派奈良は、協同・連帯活動が産み出した生協とも言えます。

生協の21世紀理念は「自立した市民の協同の力で人間らしい暮らしの創造と持続可能な社会の実現を」うたっています。私たち奈良県生協連も、「こころゆたかな協同のある暮らしを奈良県のすみずみに」として活動をしています。21世紀を「抗争と破壊」の世紀ではなく、「協同の世紀」として花ひらくよう共に頑張っていきたいと思います。

県連日誌

- 4 / 8 日生協地区別代議員会議
20 アースデー2003 in なら
30 食の安全運動推進会議
- 5 / 10 期末監査
12 食の安全懇談会
16 第1回生協・行政協議会
第7回理事会
18 つながり祭
29 臨時理事会
- 6 / 7 第14期通常総会
20 ピースリレー2003 in なら
プレ企画
26 ピースリレー2003 in なら
5
30

お知らせ

●奈良県協同組合デーのつどい

と き 7月14日(日) 13:30~
と ころ 猿沢荘

●奈良県労働者共済生協通常総代会

と き 7月30日(水) 13:30~
と ころ 春日野荘

●第19回 平和の集い

と き 8月2日(土) 13:30~
と ころ 日本聖公会奈良基督協会
シオンホール
テ ー マ イラクの子どもたちは今…
主 催 (財)奈良YMCA国際・平和委員会

●近畿地区生協・行政合同会議

と き 9月17日(水) 13:30~
と ころ KKR HOTEL OSAKA

会長賞募集

会員生協の中で、環境・福祉・文化活動を活発に行っているサークルを生協大会で表彰します。活動の内容を原稿用紙2枚程度にまとめて、県連事務局までお送りください。

- * 生協大会 10月25日(土)
- * 環境・福祉・文化活動等 5団体
- * 副賞 2万円 締めきり 9月6日(土)

編集後記

▽食品の安全に関わる法制定に国会議員への働きかけと国民的議論を巻き起こして五年、やつとの思いで市民の声がつけられた法律。これは自由な経済活動に対する国民の健康保護からの規制。一方、他の国々や国民に対して大きくかわる戦後政治の大転換とも言うべき有事関連三法等、国民的議論もなまま決定。この間、戦後の枠組みを変える法律が次々と、自由な国民生活の規制にならなければいけない。国民の側は、民主主義の根幹であるべき選挙権の行使を半数近くが放棄……。

(俊)

▽あゝ、私のさらいな夏が来る。働いて動く度に汗がたらーっ…と出てくる夏、ほけつとしていてもあつーい夏は、どうも好きになれない。誰か快適な夏の過ごし方教えてー。といった調子の私だけをアシスタントに今回「共生」を発行する俊氏のたいへんさを、ご想像ください。そして、こんな歌碑を見つけました。

やすらなる息をつきたり大俵

山青垣に風わたる見ゆ

(恭)